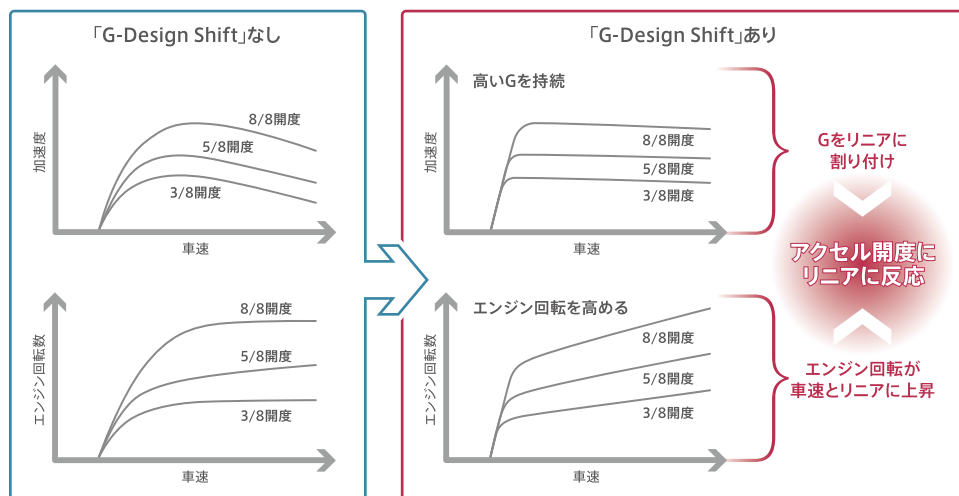


## あらゆる人に「走る喜び」を届けるためのCVT

オートマチックトランスミッション(AT)では、ドライバーが行う操作の負担が軽減されるため、ステアリング操作に集中しやすいというメリットがあります。「あらゆる人に走る喜びを」というS660のコンセプトに基づき、CVTを設定しました。MTライクな変速が楽しめるパドルシフトを装備したのに加え、CVTが持つ無段階変速という特徴を活かし、SPORTモードとDEFAULTモードを設定。SPORTモードでは、スポーツカーらしくアクセルペダルに対してダイレクトな走りが楽しめるチューニングを施し、DEFAULTモードでは日常的なドライビングで扱いやすい味付けを基本として、停車時にはアイドルリングストップも行い、燃費性能にも配慮したセッティングとしました。

## 専用セッティングの「G-Design Shift」

SPORTモードでは、ドライバーの期待に応える加速感の提供を目指し、アクセルペダル操作とCVTの変速制御を高精度に協調させる、Honda独自の制御「G-Design Shift」をスポーツカー用に専用セッティング。キックダウン時のGの立ち上がり、一定のGが長く持続する加速感を実現するとともに、エンジン回転を車速とともにリニアに上昇する設定とすることで、加速時のエンジン音と車速の上昇を、人の感性に合わせた気持ちのいいフィーリングとしています。



## SPORTモード&DEFAULTモード



### SPORTモード

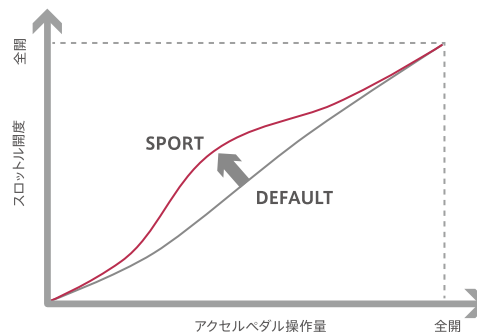
DBW(ドライブ・バイ・ワイヤ)の設定を変更することで、素早いアクセルペダル操作にも応えるレスポンスが得られるほか、変速制御を変更することで、エンジン回転数と車速の関係をよりリニアなものにしました。これにより、スポーツカーに求められる俊敏な加速と、繊細なアクセルペダル操作に正確に応える良好なドライバビリティを実現しています。

### DEFAULTモード

SPORTモードに準じるダイレクト感やリアリティを確保する一方、燃費性能にも配慮した設定としました。市街地などでの一般走行に適したモードです。

CVT仕様では、「SPORTモード」「DEFAULTモード」の2モードで、ドライブ・バイ・ワイヤの設定や車速/エンジン回転数の相関関係を変化させ、2通りのドライビング特性を楽しめるようにしました。モードの切り替えは、メーター横のSPORTスイッチによって行います。「走りのすべてをドライバーがコントロールする」ことが魅力の6MT仕様ではこれらの制御は行わず、メーターのカラー等だけを変化させます。(詳しくはP.26)

ドライブ・バイ・ワイヤ設定説明図



車速/エンジン回転数相関説明図

